

未来

郵政産業ユニオン
PIWU
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙「みらい」
NO. 3895
18年10月5日(金)
Fax 095-828-1953

「ナガサキの郵便配達」で原爆投下と被爆者を見る!

おはようございます。

この夏のお盆で県外から帰省した息子の家族が、原爆資料館を見学して帰宅後、小学生の孫娘が「被爆者ばかりかわいそう」と感想を述べた。それを聞いた長崎の従弟が「あなたも被爆者よ」といつ。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員を正社員化を。

めぞせ、均等待遇、なくそう差別!

ユニオンは労務法裁判に勝利するぞー!



孫娘は驚き、頭を抱えて「その」と自分の父親を見た。孫娘の父で私の息子は、「うん」といつ、「息子の母方の祖母が被爆者で、母が被爆二世で、自らも被爆三世だ」といつ、小五の孫娘が被爆二世であることを話した。長崎の子供は平和教育などで、原爆や被爆問題を学んでいることから、息子の話はしつかりしていた。

は、長崎の海での釣りや精霊流しなどを楽しみ、明るく帰って行ったし、その後の家族のラインのやりとりなどを見れば、元氣そうだが、長崎では被爆者(二世、三世)であることは普通だが、県外では特殊な存在となるのだらう。ところで私の義母は五人の子供がいる。そしてそのそれぞれの子供が、数人の子供をつつた。義母の娘である私の妻も三人の子供を生み、いま孫が七人だ。



一人の被爆者(祖母)から私の家族に限っても、十人の被爆二世や三世、四世が生れている。単純計算だが、広島、長崎の五十万人を超える被爆者は、七十数年後のいま、十倍の被爆者(二丁五世)となり、全国でいまは数百万人を超えていると推測される。

医学的には被爆二世、三世者への放射能被害の影響はわからないが、結果はどうであれ、日本人の多くが被爆〇世となり、将来は被爆者が多数派(被爆民族)となるのだらう。昨年、ノーベル文学賞を受賞した日系イギリス人のカズオ・イシグロは、母親が長崎の被爆者であり、自身が被爆二世であることを明らかにしている。彼は受賞のときの会見で、長崎への思いと、被爆二世である自身の立場を述べていたが、あらためて被爆者という存在を世界的に広め、多くの人に実感させた。

長崎人であれば、歌手の福山雅治が被爆二世であることを公表している。その福山が、長崎の被爆地近くの山王神社で被爆し、奇跡的に生き残った楠の巨木を歌う「クスノキ」は有名だ。イシグロも福山も被爆二世としてのハンディを乗り越え、生命力ある生き方は、多くの被爆二世、三世、四世の人たちを勇気づけている。無論、長崎、広島、被爆者たちの存在や活動も同じく、二世、三世者たちに勇気を与えている。このように、被爆七三年後の今でも、長崎での被爆者は、私たちの身近な問題だ。



この著書を週刊誌で紹介する中山千夏さんは、この本は「原爆と戦争の非を世界に訴えた」といつ。わけても注目したのは、原爆を投下させた当時のトルーマン大統領のことを、原爆を喜んで投下させた人としての言動や来歴が、トランプ現大統領と瓜二つである」と書いていることだ。

さらに、「第二次世界大戦の最終期の太平洋戦争で、数百万人を死に追いやつて、また広島、長崎の原爆を見てもお、戦争を続けようとした日本の軍政権のありようは今も続いている。しゃにむに憲法を変えて、戦争ができる国に走る現政権福島で多くの人々の故郷を破壊しながら、なお原発にまい進する政権。

沖繩の苦難を無視してアメリカと駆け引きに励む現政権これらが、戦争末期の原爆投下に至る日米の駆け引きとありように、あまりに似ていてぞつとすると書く。ぜひ読んでほしい本です。

写真は上が山王神社の楠下「ナガサキの郵便配達」の本の表紙のタイトルです。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-御手洗, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-山口 ゆうちよ銀-上筋, 東-, 他支部・分会の役員へ。